

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                    |            |          |
|---------|--------------------|------------|----------|
| 事業所番号   | 0170502181         |            |          |
| 法人名     | 株式会社 グローバルケアマネジメント |            |          |
| 事業所名    | ポテトタウン南の沢          |            |          |
| 所在地     | 札幌市南区南沢1822-63     |            |          |
| 自己評価作成日 | 令和3年11月末日          | 評価結果市町村受理日 | 令和4年1月6日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigvogyoCd=0170502181-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigvogyoCd=0170502181-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 評価機関名 | 株式会社 サンシャイン           |
| 所在地   | 札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F |
| 訪問調査日 | 令和3年12月21日            |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ポテトタウン南の沢は自然豊かで閑静な住宅地に位置しています。施設裏には川が流れ、遊歩道があり、近隣の住人が犬の散歩や子供たちが魚、ザリガニ等を捕って楽しんでいる声が聞こえ時には近隣にある東海大学の生徒さんが吹奏楽の練習をしており、とても落ち着く環境です。ここ2年程コロナウイルスでイベントが中止になり、外出も不可能となりました。その中で利用者トレーナーを頼み身体をほぐす等日々安心して暮らせる様工夫しながら日常生活に取り組んでいます

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ポテトタウン南の沢」は地下鉄真駒内駅からバスで15分ほどの自然豊かな住宅地に立地している。近隣には散歩が楽しめる遊歩道や南沢福祉会館、カフェなどあり日頃から地域住民と交流しながら生活ができる環境である。一般住宅を利用した事業所で、居間には家庭的な家具類や調度品、職員の得意分野を活かした季節の装飾や利用者の作品が飾られており家庭的な温もりが感じられる。管理者は、常に市町村と情報を交換して連携しながら熱心に運営に取り組んでいる。理念を事業所内要所に掲示し、ネームプレートにも記載して個々に意識することで全職員で共有して実践につなげている。身体拘束適正化委員会は2か月ごとに実施し、勉強会も毎月開催して拘束のない家庭的なケアに取り組んでいる。ケアマネジメントの面では、本人の思いや趣味嗜好を具体的に把握し、毎月モニタリングを行いながら現状に即した介護計画を作成している。食事面では、感染症の影響で外食が難しくなったため、キッチンカーの活用や出前、おせち料理など季節行事に合わせて食事が楽しめるように工夫している。管理者は、面会が難しい中でも家族が安心できるように毎月電話で利用者の様子を伝えながら情報交換して連携を深めるなど、新たな取り組みを行いながら更なるケアの充実と安定した運営に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |  |
|----|--|--|----|---|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目:9,10,19)  | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○(コロナの為)<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない           |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○(コロナの為)<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない     |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |  |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価(事業所全体)   |  |
|-------------------|------|--|---|---|--|
|                   |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |   |   |  |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | 玄関・リビング・洗面所横・事務所に理念を掲げている。常に職員や利用者様、家族様が訪問された時に目に止まるように心がけている | 理念の中に「住み慣れた地域での安心した暮らし」という、地域密着型サービスの意義を踏まえた項目がある。事業所内の要所に掲示し、職員のネームプレートにも記載している。職員採用時に説明し、会議で唱和することもある。              |  |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | ここ2年はコロナにより交流は皆無に等しいが電話等で近況報告をしている                            | 地域の方から野菜の差し入れを受けたり、犬の散歩をしている方と挨拶を交わしている。バーベキューに民生委員を招待したり、職員の子供が遊びに来ることもある。専門学校生が来訪したこともある。                           |  |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | 民生委員の方々に電話やお手紙で近々の報告をしている                                     |   |  |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | コロナの影響で職員で2ヶ月に一度推進会議を行いその議事録を抱括・民生委員・家族様に送り理解を得ている            | 感染症流行のため、管理者と職員、利用者代表が参加して行事報告やヒヤリハット、利用者の日常の様子などを報告している。議事録を全家族と地域役員にも送付して情報を共有しているが報告が中心となっている。                     | 家族との電話で得られた意見や質問などへの対応を議事録に記載したり、会議開催時のようなテーマに沿った資料を添付するなど、更なる情報の提供も期待したい。 |
| 5                 | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる   | 市町村の担当者より問い合わせの連絡が多くなった。必ず出向き名刺交換をしている。その為か協力関係が強くなった         | 市役所に新型コロナウイルス感染症対策や外部評価の実施方法、外部研修の実施予定などについて確認している。区役所には月1回ほど出向いて保護課の担当者や情報交換したり、おむつサービスや介護保険の更新手続きなどを行っている。          |  |
| 6                 | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員会議で身体拘束の勉強会を行い職員間で統一させている。推進会議で報告し外部でも共有している                | 「身体拘束廃止に関する指針」を作成し、一般的な事例に沿って2か月ごとに身体拘束廃止委員会を開催している。勉強会も毎月実施している。事業所内に掲示している禁止行為11項目をマニュアルにも追加し、分かりやすく書類を整備したいと考えている。 |  |
| 7                 |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                       | 職場内で研修会を設け事例案等を読み上げて検討している                                    |   |  |

ポテトタウン南の沢

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価(事業所全体)  |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 成年後見制度は未だ発生しておらず問い合わせもない。外部の会議等で研修はしている為それを職員に報告している                        |  |                   |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時前よりご家族様にお話しし、更に契約時に細かくお話ししご家族様が納得のいくよう理解を得ています。又内容変更、改善等あれば都度連絡し了承を得ています |  |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | ご家族が電話等でツ話をする時間で事前に利用者様の今の状態、日常の過ごし方をお伝えした上で不安なことはないかお聞きしています               | 管理者は、毎月電話で利用者の様子を詳細に伝えて意見や要望を聞き取っている。家族の意向を確認し、現在は定期的なお便りに代えて2か月ごとの頻度で写真にメッセージを添えて送っている。                         |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 常に職員の要望・疑問は言いやすい環境にしています。職員会議等でみんなが周知するようになっていきます                           | 会議や申し送り、業務の中で職員の意見や提案を聞き取り、利用者の状況に応じて居室の環境整備を行ったり、業務の流れなどを変更している。職員は、それぞれの得意分野を活かして運営やケアに携わっている。年2回、個人面談も実施している。 |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 就業環境については以前よりも意見が言える環境になっている。運営に関する職員意見の反映が良くなっているからだと考えられる                 |  |                   |
| 13   |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | この時期で研修は行けないので内部で個々に合わせた実践の研修をしている  |  |                   |
| 14   |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | GHでの電話で情報を集めたりと交流している   |  |                   |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価(事業所全体)   |                   |
|-----------------------------|------|---|--|---|-------------------|
|                             |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |  |   |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 一人一人に寄り添い常に利用者様目線で話を聞き、傾聴している  |   |                   |
| 16                          |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 何をしてもわからない事から掘り下げて行き常に悩んでいる事を先回りしてご家族にお話してみる。又不安な事を傾聴し100%ご家族様の不安が消える様に努めている |   |                   |
| 17                          |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 利用者様の体調、今不安な事、今後の要望等聞き入れみんなで共有していく   |   |                   |
| 18                          |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | 許容範囲内で今まで暮らしてきた自宅との間隔をなくさない様、掃除、畑仕事等一緒に行っております                               |   |                   |
| 19                          |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | 往診以外の通院、外食、行事のサポート、または推進会議の廻り番の出席のお願いをさせて頂いております                             |   |                   |
| 20                          | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | 親しい人との交流が途切れない様電話や手紙、メール等で努めております  | 知人や友人から電話や季節のハガキ、手紙などが届く利用者もいる。職員は手紙の投函などを支援している。感染症の流行で外出する機会は減っているが、利用者の住んでいた近くの公園を車窓見学したこともある。 |                   |
| 21                          |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                    | 毎日リビングにて雑談や、TV鑑賞等利用者様同士会話を楽しんでおられます  |   |                   |

ポテトタウン南の沢

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価(事業所全体)  |                   |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | 電話やメール等でご家族様と連絡を取り利用者様の思いでの場所のお話を傾聴しております                            |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人のお思いを傾聴し、パソコン等で探し、実現できる様務めている                                     | 会話で意思疎通できる利用者が少なくなっているため、表情や仕草、日頃の経験から思いや意向を把握している。センター方式(B-3)シートを作成し、6か月ごとに更新している。変化があれば具体的に追記している。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 個々の生活歴を聞き思いが強い事等できるだけ実現する様努める  |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | いつもと違う状態である時は、管理者、スタッフ速やかに報告し全員が把握している                               |  |                   |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | モニタリングは管理者・計画作成担当者がいる時日勤帯でスタッフを入れてすり合わせ、その後介護計画作成を取り組み全員が把握する様になっている | 家族の意向を聞き取り、計画作成担当者を中心に毎月全職員でモニタリングを行い、3か月ごとに介護計画を作成している。今後は家族の意向を更に具体的に聞き取り、介護計画書I表に活かしたいと考えている。     |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 毎日の申し送りで細かい気づきを共有し月に一度の職員会議にて総合的な検討・把握に努めている                         |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | その時の緊急対応、利用者様が今望んでいる事はできるだけ対応している                                    |  |                   |
| 29                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 抱括・民生委員様・パソコンなどから情報を頂き施設内で行っている                                      |  |                   |
| 30                                 | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | 利用者様・ご家族が要望・疑問等あれば主治医と連携をとり理解して頂いている                                 | ほぼ全員が協力医療機関の往診を受けている。かかりつけ医を家族と受診する時は、本人の健康状態をFAXで主治医に伝えている。受診結果を書面でもらった場合は個別の往診・受診報告書に添付している。       |                   |

ポテトタウン南の沢

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価(事業所全体)   |   |
|----------------------------------|------|--|--|---|---|
|                                  |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容                                   |
| 31                               |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | 日々の健康状態・又変化があればその都度報告し適切な指示を頂いております  |   |   |
| 32                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 24時間体制の医療機関であり、その都度適切に動いて頂き信頼関係を築いています   |   |   |
| 33                               | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入所の際前もって家族から終末期の思いを聞きできるだけそれに沿って近づけるよう主治医と連携しています  | 利用開始時に、医療行為が必要になった場合は対応が難しいことと看取りを実施していない旨を伝え、口頭での説明になっているので、今後は事業所としての可能な対応や方針を書面化して利用開始時の説明に活かしたいと考えている。  |   |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 緊急マニュアルが用意されており、近隣の職員が動ける体制になっている  |   |   |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 防火・避難訓練等定期的に消防署の協力のうで行い全員職員把握に努めております  | 消防署や地域住民の協力を得て昼夜の火災などを想定した避難訓練を実施していたが、今年度は感染症流行のため自主訓練を行っている。職員の救命講習も計画的に進めている。地震時の具体的な対応マニュアルは不十分な面もみられる。 | 地震時のケア別の個別対応について話し合い、議事録をマニュアルなどに綴り定期的に確認するよう期待したい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |   |   |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | 訪室時必ず戸を閉めお話しをする。排泄時は個々で関わり支援します  | 会議の時に日々の業務の中で気付いた事を話し合い改善をしている。適切でない言動は職員同士で注意し合える関係を築いている。   |   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている   | デリバリー・服・日用品等は個々の好みに沿って支援しております   |   |   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                   | 入居者様が何を望んでいるのかをお聞きしご本人の希望に沿うように行っております   |   |   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している  | モーニングケアでは必ずブラッシングをし、女性に至っては化粧水等付けて頂いております。男性は毎日髭剃り、そり残しがあれば支援します。また訪問理美容を使って本人が好むヘアスタイルになっていただいております |   |   |

ポテトタウン南の沢

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価(事業所全体)   |                   |
|------|------|---|--|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている    | 季節の行事や、利用者様の誕生日・時にはリクエストがあればデリバリーやキッチンカーを頼み飽きの来ない食事を提供しております       | 行事の際には、職員が利用者の好みの物を買って来たり、キッチンカーに事業所の前まで来てもらい、ラーメンやホットドッグなどを食べている。また、調理をしているところも窓越しに見て楽しんでいる。     |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 栄養バランスは外部からプロの栄養士が計算した食事の提供になっており水分に関しては、全員職員が一目で把握できる様記録に記入しております |   |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 毎食事後必ず口腔ケア実施しております。又月に一度歯科医が定期往診にいられています                           |   |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 本人の排泄感覚を優先し、極力失敗に繋がらない様声掛けにて支援している                                 | 自立の支援として、昼と夜でパッドの大きさを変えるなどの取組みをしている。パッドを使用していた利用者に適切に声かけを行い、トイレでの排泄を促すことで布パンツに変更することができた事例もある。    |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 夜勤者の送りから最終排便を聞き、主治医と相談の上利用者様に合った排便コントロールをしています                     |   |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 曜日を決めて個々に合った入浴支援を行っております。その日の体調で、シャワー・足浴・清拭のみの時もあります               | 週に2回は入浴できるように支援している。全利用者が浴槽でお湯につかれるよう、時には3人で介助をすることもある。入浴剤は柑橘系のものや温泉の素を使用して入浴を楽しんでもらえるように取り組んでいる。 |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 利用者様の状態に応じ、眠気が強い時は無理せず居室に休んで頂き、又早く覚醒された時などはリビングなどで休んで頂いております       |   |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 往診時Drと密に連携をはかる。なおかつ提携薬局と副作用、食材禁等があれば職員全員把握している                     |   |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 掃除、モップ掛け、畑管理等、無理のない様職員と行き運動や塗り絵、写経等も行って頂いております                     |   |                   |

ポテトタウン南の沢

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価(事業所全体)   |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | コロナ渦により外出はできておりませんが天気の良い日は入り口前で日向ぼっこや畑を視たりなどストレスにならない様心がけております   | 感染症の流行により外出の頻度は減ってしまったが、近くの遊歩道を散歩したり、事業所の入り口にあるベンチに座ったり、敷地内の畑で育てている作物への水やりや収穫で外に出る機会を作っている。また、冬には男性の利用者が除雪を手伝ってくれることもある。                          |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 本人の希望があれば都度購入しご本人にお渡ししている  |   |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 電話や手紙、メール等ご本人の希望があれば支援しております   |   |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 手すりはもちろん、入り組んだ導線は作らず安心して過ごせられる共用スペースになっています  | 共用空間の壁には職員が制作した季節の装飾や手作りのカレンダー、行事などで撮った利用者の写真が掲示されている。居間と食堂の配置を変更することで、より寛ぐことができるようになり、利用者それぞれの好きな時間の使い方ができるようになった。加湿器や空気清浄機を設置し過ごしやすい環境にも配慮している。 |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 今まであったリビングスペースを食事場所にしました。食事の間四季を感じられる様窓が2面ある所にしたことよってゆっくり堪能できると、ソファを増やし中間部分に集まる事によりより一層職員との距離感が近くなりました |   |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご本人が好んでいた物を視たり、思い出の品などを家族様と一緒に話し思い出していただきます  | 居室への入り口には職員と利用者が制作したリース、居室内にはメッセージ入りの作品が飾られている。利用者は使い慣れたタンスや椅子などの家具を持ち込んでいる。また、テレビなども持ち込むことができ、居心地よく過ごすことができる。                                    |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 各場所、居室等手すりを設置して安全に配慮しております   |   |                   |

目標達成計画

事業所名 ポテタウン南の沢

作成日：令和 4年 1月 3日

市町村受理日：令和 4年 1月 6日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|--|---|------------|
| 1    | 4    | コロナの影響の為職員で2ヶ月に一度推進会議を行っている。家族や地域役員に送付しているが報告が中心となっている | 家族と電話で話した時、得られた意見や質問等の対応を議事録に記載、会議開催時資料を添付 | 家族との電話で、意見などを推進会議に組み入れ職員と相談の後、議事録に表記する。会議時のテーマなどの資料も添付し郵送する | 1ヶ月        |
| 2    | 35   | 地震時の個別対応について話し合う                                       | 利用者の介護度に合った訓練を行う                           | 入浴中、または排泄介助中の災害設定し利用者様の身体状況における個別対応を実施、その議事録を作成する           | 1年         |
| 3    |      |  |  |   |            |
| 4    |      |  |  |   |            |
| 5    |      |  |  |   |            |

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。